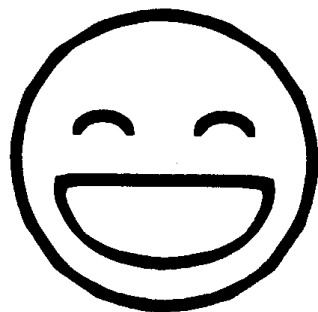


HSK NPO 法人「文福」ニュース ❀❀❀❀



# 「障」ちゃん



NO.209

## 冒頭の一言

(6)

先月は巻頭でない巻頭の言葉になってしまいました。気を取り直してしっかり十月を始めていきましょう。もうはやくも秋真っ盛りです。魚や果物など美味そうなものが出回っていますが、店でわざわざ買わなくても公園や道端を歩いているだけでごろごろと転がっている食材があるのをご存知か。この時期はちょっと迷惑な奴らかもしれません。なぜかという大変にくさいやつだからです。おまけに皮膚の弱い人は下手に触るとかぶれてしまうやっかいものです。あのおでんや、がんもどきの中に隠れている、美味くてかわいらしいやつ。そうです、なにを隠そう銀杏ちゃんです。だいぶ年が経ってしまってから分かったことなんですが、銀杏てなんと果物だったんです。あの薄い皮の中のべとべとしたのが果肉です。どの鳥の好物かは知りませんが、鳥が喜んで食べるものらしいです。要するに言いたかったことは、真っ赤な紅葉狩りはちょっと山に入っていけないと見る事が出来ないかもしれないけど、黄色い紅葉狩りは街中で気軽に楽しめるので、美味しそうでくさい実を踏みつけない様に気を付けながら散歩を楽しんでください。

### —もくじ—

- 冒頭の一言… 1 あれから 1ヶ月 八木勝自… 2-3 ぱんだナイト報告 …4-5  
 花火報告… 6 Penko …7 抗議文 …8-9 まっち…10 運営会議報告 … 11  
 今後の予定 … 12-13 ありがとう+編集後記 …14

一九九四年八月四日第三種郵便物承認  
 一〇、一、二、三、四、五、六、七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇

### 相模原殺傷から1カ月

相模原市の延焼障害施設で起きた殺傷事件では、死亡した19人全員の氏名が公表されない異常事態が今も続く。プライバシー保護を求めた遺族の意向を反映させた措置だが、障害者を特別扱いするのでは、警察者と同じ発想の逆説ではないか」との批判もある。実名報道を原則とするメディアにも重い課題が突き付けられている。

【本記30面】

障害者への取材によると、死亡者を匿名とすることは事件発生直後の混乱の中で決まった。7月26日午後、一歩久井やまゆり園の狭い一室に集められた遺族から匿名を希望する声が上がった。反対意見はなく、神奈川県は「約束はできない」と要請を拒否した。その後遺族は、「匿名でいいから」と、死者をアルファベットと併列、年齢で表記した「死に番号」が公表された。

匿名の事実により、捜査当局

# 異例の「全匿名」今も

による情報の加工や隠蔽がないかチェックするための取材には被害者名の公表が極めて重要な鍵となる。実名で報道するかどうかはメディアが判断し、その結果にも責任を持つのが原則。殺人事件でも性被害者など特別な事情がある場合、被害者名を伏せて報道するケースもある。

## 異論

この扱いに異を唱えたのが日

# メディアに重い課題

本障害者協議会だ。事件後の声明で、匿名発表について「一人一人の死を悼みに」とし、匿名発表代表は「死後も差別が続いている」と思わざるを得ない。日本の障害者団体の範囲を示している」と指摘した。

「この国は優生思想的な風潮が根強く、公表できない。8月6日、東京都内で開かれた連日集会で遺族の強烈なメッセージが読み上げられた。

## 現実

実際、被害者側の取材に対する拒絶反応は極めて強い。匿名と差別され責められた尾野一矢さん(43)の母千子さん(74)は「こんな時だからこそ障害者への理解を深めてほしい」と例外的に実名で取材に応じているが、心中は複雑だ。

「息子を忘れ物にしていないか」との思いが消えず、記者の前で「一矢、健勝に闘ってあげられなくてごめん」と涙を流すこともあった。

やまゆり園を運営する「かながわ共同会」評議員の尾野茂さんは「氏名の非公表はやむを得ない」との立場。「実名報道されれば、被害者の身内はさらに大きな痛手を受ける。これが障害者への偏見が根強い日本社会の現実だ」と話す。

- 2016年12月、日本新聞協会、日本放送連盟の共同声明より
- ・ 報道機関は、被害者や関係者のプライバシーを保護し、被害者や関係者の名誉を毀損しないよう努めるべきである。
  - ・ 被害者や関係者の同意を得ずに、被害者や関係者の氏名や顔写真を公表することは、被害者や関係者の権利を侵害する可能性がある。
  - ・ 被害者や関係者の同意を得ずに、被害者や関係者の氏名や顔写真を公表することは、被害者や関係者の権利を侵害する可能性がある。

「どういふ場合に実名報道し、どういふケースで名前を伏せるのか、今回の事件を踏まえて議論をより深めていくべきだ」と指摘した。

## 「あれから 1 か月」

NPO 法人文福理事長 八木勝白

神奈川県重度障害者施設で、19 人の障害者が殺傷され、27 人の障害者が重軽傷を負った事件から約 1 か月過ぎてからこの原稿を書いています。

そして事件からちょうど 1 か月経った 8 月 26 日の北日本新聞朝刊に「相模原殺傷から 1 か月『全匿名』今も」このページの上記に載せたような記事が載りました。

先月号の障ちゃんニュースに、私はこの事件のことを書き、その中でも事件の被害にあった障害者の実名が報道されないのは「殺されたり、被害にあった障害者が浮かばれずおかしい」的なことを書きました。もちろんその中で書いたのは、被害にあった障害者を匿名にするのは本人のためではなく、家族のためで具体的に言えば、障害者の家族が誹謗や中傷、嫌がらせを社会や人々から受けたり、家族の中に結婚や就職をする人などがいたら、その就職や結婚ができなくなるかもしれないということなのですが、それは障害者を持った家族が悪いのではなく、差別や偏見、いじめなどをする方が「悪い」に決まっているから、家族は殺されたり被害にあった障害者の意向を汲んで、そういったことと闘ったり、跳ね返してくれなければ、障害者が浮かばれない的なことを書きました。

確かに日本では上記の新聞記事の中でも書いてある通り、「優性思想」があります。しかしそれは、日本だけでなく世界各国にあることでそれをそのまま放置していたら、とんでもんもない世界になってしまいますし、日本でもそういう風になります。

上記の新聞記事の中でも書かれている通り、「障害者を特別扱いするのは、容疑者と同じ発想の差別ではないか。」「死後も差別が続いていると思わざる

を得ない。日本の障害者問題の縮図を示している。」「匿名ではなく、個人の歴史も残らない。障害者を排除している。」は私もその通りだと思い、これも記事に書かれている特に 19 人の氏名が未だに匿名なのは異例中の異例です。繰り返しますが、これでは殺された障害者が浮かばれなく、この事件を隠蔽しようとするれば、匿名だということで輪をかけて家族以外にも、疑心暗鬼や話が拡大して、それがあおられて被害家族何倍にもなって跳ね返ってきます。

これが日本の優性思想であり、そういったことを被害にあった障害者の家族や色々な人々や社会委全体が捉え直したり、そういったことと闘っていかなければ被害は拡大していくと私は思います。

またまた繰り返しますが、それを放置してはならないと私は思うし、そのようなことを放置しては、他のことも見えない被害がどんどん社会や人々に広まっていきます。このような差別に対して一人一人が異議をとなえたり社会全体が改善していかなければならないのではないかと思います。

上記の記事や私の書いていることを読んで、「ふん。生意気な」とか「家族のことを全然考えていない」とか思うあなた、それが日本の優性思想なのです。



# Summer ぱんだ Night

## 報告

そう。あれは夏。皆さん覚えておられるでしょうか？7月30日に行った「Summer ぱんだ Night」を。遅くなりましたが、その報告をお送りしたいと思います。ものすっごい遅くなり申し訳ありません。

記念すべき4回目の出演者さんは「1104+801」さん、「ちいかな」さん、「モジョリズム」さんでした。18時からの開演で21時まで行いました。知る人ぞ知る出店の中身は、今回は夢宙人によるレトルトカレー販売他。そして会場には出演者とお客さん合わせて20名弱と少しこじんまりとしたライブになりました。がしかし、来てくれた方々は大いに盛り上がってくれたと思います。食べて飲んでライブを見る!!というちょっとした企画として楽しんでくれたことでしょう!!カレーもぼちぼち売れたしね。

そしてなんと言っても会場である「フォルツァ総曲輪」が今年でなくなるということでなかなか味わい深いライブになりました。これはボクだけ、いや夢宙人メンバーもかもしれませんが、1回目からずっとお世話になってきた会場なだけに昔を思い出すこと瞬間もありました。色々失敗もした、笑いもした。少し思い返すだけでもけっこう懐かしさがあふれてくるものです。

この企画は冬にある「たぬきマス」とは少し違った色合いで行ってきたライ

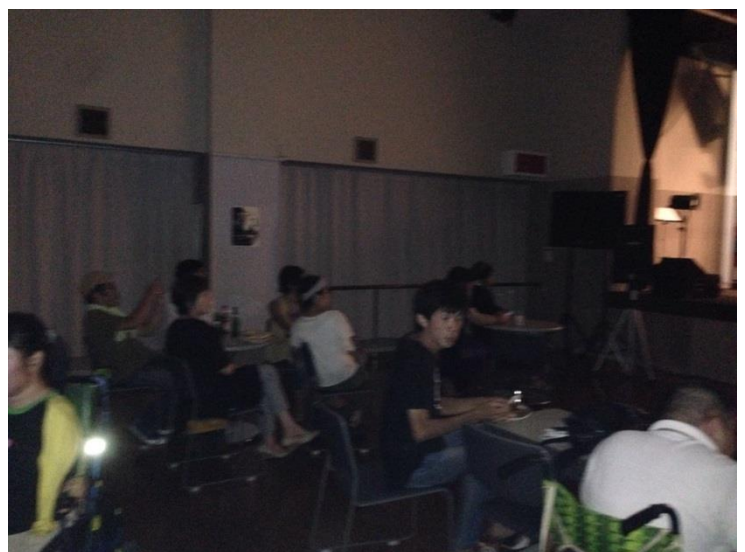
第三郵便物承認 HSK 『文福』ニュース『障』ちゃん NO,209」通巻 4396 号 2016 年 10 月 1 日発行  
ブでしてその辺りの思いいれもあるかなあ…。おおっと話が逸れました。そ  
う!!会場がなくなってしまった今、というかこれから。どうしていこう「ぱん  
だナイト」って感じです。まあそれはまた報告する 때가来ると思うので答え  
はもうしばしお待ち下さい。

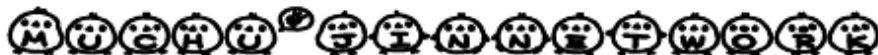
レクリエーション企画部夢宙人、しっかりひとつひとつやっていくぞあー  
ー!!

と気合を入れたところで今回の報告を終わっていきたいと思います。

今後とも夢宙人をよろしくお願いします。

(吉田健太)





# 花火大会

## 報告

これも報告が遅くなり申し訳ありません。なかなかなかなか…いや言い訳は止めておきます。すいませんでした。

皆さん覚えておいででしょうか？8月1日に行った「花火大会」の報告です。思い出してくれた皆さん、そう！あれです。花火大会に行くだけのやつ。会場に行って皆で見るだけのやつです。

無事に花火大会が開催され、夢宙人も見に行く事ができました。参加者数は少なく、5名と本当にこじんまりとひっそりしたものになりました。それも皆さん途中参加です。いや、良いんだよ？途中参加大歓迎です!!遅れてきても良いんだよ？ただ人数が少なく、皆来ないのかな？って不安になったのはここだけの話です。

時間も19時45分から20時30分くらいまででした。ショッピングセンターアリスに集合し、花火会場に向かいました。平日ということもあり、思い返してみると、お客さんが全体的に少なかったのかなと思います。場所はちらほらと空いておりました。花火が始まり、各々お話しつつ見たり、写真を撮ったりとなかなか楽しいものになったのではないかと思います。そして花火が終わり、また皆でアリスまで戻り、解散しました。初参加の人もおられ、のんびりとしたものになったと思います。

気軽に気楽に参加できるイベントとしてこれからもやっていきたいと思いたしますのでまたよろしくをお願いします。

(吉田健太)



## Penko のおひとりさま 珍道中!! (part 20)

### 地域生活をしたかったもう一の理由

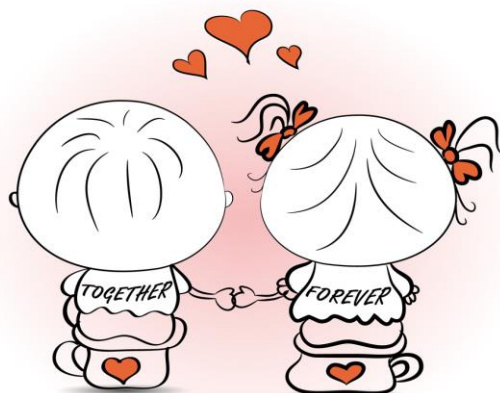
施設で生活をしていた時に外からのお客さんが来られるたびに他の利用者さんからジロジロ見られて苦痛に感じた。好きな人が来られた時はすごく最悪でした。

プライバシーもないところであったため、外や会議室でしか話せなかった。

そして、周りの目を気にすることなく、ゆったりと一緒に過ごせる空間が欲しくて地域生活をしたいと思うようになったのだ。

今はどうかというと、いろんな人を呼べるようになり、門限もなく、快適に生活している。相手 came られた時、部屋の中を快適に過ごしてもらえそうな空間づくりを心がけている。

今も好きな人は…います。





文福発第 50 号」

2016 年 9 月 20 日

## 抗議文

富山市障害福祉課長 中島眞由美 様  
富山県障害福祉課 齊木志郎 様

富山市五福 3 7 3 4 - 3  
NPO 法人文福理事長 八木勝自  
T E L / F A X 076-441-6106

「なぜ富山県と富山市主催の人権啓発講演会にノートテイクがなかったのか」

私たちは障害者の社会参加と地域で障害者の自立生活を支えるために様々な事業や活動をしている NPO 法人文福です。

去る 8 月 25 日に富山県と富山市の主催による人権啓発講演会が県総合福祉会館福祉ホール、通称サンシップ富山で講演者として久野研二（NPO 法人障害平等研修フォーラム代表理事）さんをお招きしてテーマを“障害のことを身近に考えよう～障害平等研修を通じた障害者差別解消法の推進～”が行われました。

しかしその講演会に私たちの理事長を務めている八木が行ったところ、「ノートテイク（瞬時言語変換実況表示）が本当になくてびっくりした」そうです。

八木理事長は身体四肢麻痺障害と人の言葉が聞き取れない聴覚障害があります。それでノートテイクがなかったら講演者などが何を言っているか全くわからない状態です。

そしてそのことは様々な聴覚障害を持っている人や高齢で耳が聞こえなくなった人や会場に聞きに来た普通の人でも、聞き取れなれない箇所やことがあったら大変便利なものです。確か去年の長瀬修さんをお招きした富山県と富山市主催の国際会議場で行われた講演ではノートテイクはあったし、現在の福祉講演会や討論会にもこのノートテイクは徐々に普及してきています。それが何故富山県と富山市の主催による人権啓発講演会「障害者のことを身近に考えよう～障害平等研修を通じた障害者差別解消法の推進～」になぜなかったのか。演題のテーマの核心である障害平等や障害者（高齢者）差別解消法推進の意味が全くなく、ここになぜそういう状態になってしまったのか疑問と不安や怒りを感じてしまいました。その経過を説明してほしいと思います。

第三郵便物承認 HSK 『文福』ニュース『障』ちゃん NO,209」通巻 4396 号 2016 年 10 月 1 日発行

尚、当日はろうあ者のための手話通訳や **OHP** もなかったと理事長から聞き、繰り返しますが、人権啓発や障害差別解消法の推進に疑問や問題を感じているため、その抗議や説明を強く求めます。

## 「まっち」原稿募集

お気づきの方もおられるとは思いますが、先月 7 月にようやく 13 号を発行することができました。これからも引き続き、定期的な発行はしていこうと思っております。

改めて頑張っていこうと思い、今回は原稿募集と共にまっち再開をお知らせしようと思い、ニュースに載せさせていただきました。

今後とも応援の程よろしくお願い致します。

次号についての詳細は下記に。

テーマ 「今ボランティアとは」

締め切り 10 月末

発行 11 月 29 日

メールアドレス [macchitti@gmail.com](mailto:macchitti@gmail.com)

テーマ以外のものや文章でなく、イラストのみ、なども大丈夫ですので、なにか「まっち」に載せたいというものがあれば、寄稿していただければと思います。原稿は上記のメールアドレスまでよろしくお願い致します。



(吉田健太)

## 運営会議報告 8月23日

### 各部の報告

#### 障害者部会

9月27日に全国介護保障要求者組合総会の中で、藤岡弁護士の講演会。28日厚労省交渉がある。文福から障害者スタッフ1名と健常者スタッフ1名参加。

#### 学習会

9月から「障害者がどう生きてきたか」というテーマで各障害者スタッフに話をしてもらいます。予定が遅れています。

#### 介護人派遣事業部

10月15,16日に行われるザ☆カイジヨの広報活動でポスターやチラシを各大学や事業所等に持って行き、交流の為お話をしてくれるようお願いします。

#### レク

12月に行われるためきマスの準備をしていく。

場所は昨年と同じ滑川で行う予定。

#### 障ちゃんニュース・まっち

まっち 次回のテーマはボランティア。締め切りが10月、発行12月予定です。

テーマ以外では、相模原で起こった施設での大量殺人事件についても書ける人は書いてもらいたい。

#### その他

・9月24、25日にサンシップにて第22回東海道北陸車いす市民集会が行われる。皆さんも積極的な参加をお願いしたい。

・現在スタッフ用に福祉車両が3台あるが、その1台が走行すること自体

困難な状態になった為、廃車にし、福祉車両をリースで用意することを検討する。

次回運営会議日程 9月20日（火）です。

文責 福田



## ◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願ひします。

◎ 日・時 10月1日(土)12:30～スタンディングアピール  
市役所付近13:30～ レッドクシヨソ学習会 県民会館 509 号室  
現行 24 条の意義を再確認しよう  
—「自民党憲法草案」もくろみはどこに?—  
参加費 500円

◎ 日・時 10月2日(日)14:30～16:30  
場 所 タワー111 3階スカイホール  
障害者の人権や尊厳に関する県民大会  
主 催 富山県・富山県手をつなぐ育成会

◎ 日・時 10月16日(日)13:30～15:30  
場 所 富山市民プラザ 3F マルチスタジオ(富山手大才町 6-

14)

### スライドトーク

イタイイタイ病を撮り続けて 写真家 林春希の原点」

スライドトーク: 林 春希さん(フリージャーナリスト、報道写真家)

聞手: 金澤敏子さん(イタイイタイ病を語り継ぐ会)

参加費 1,000 円、大学生 300 円、高校生以下無料

◎ 日・時 10月15日(土)9:00～17:00

10月16日(日)9:00～17:00

場 所 サンフォルテ303号室 (16日午後は外出)

**ザ★カイジヨ 重度訪問介護従事者養成研修・基礎課程**

**10月22日(土)9:00～18:00**

**ザ★カイジヨ 重度訪問介護従事者養成研修・追加課程**

**参加費 基礎課程2500円(二日目実習時の昼食代・交通費含む)**

**追加課程1500円**

**主催 NPO法人文福 富山県指定**

**賛同団体:デイケアハウスにぎやか 富山YMCA CIL富山**

**◎日・時 10月22日(土) 上映会 10:00～13:30 1000円**

**学生 500円 講演会 15:30～15:00 1000円 学生 500**

**円**

**場 所 サンシップとやま 福祉ホール**

**「みんなの学校」上映会 & 木村泰子先生講演会 in 富山**

**主 催 「みんなの学校」上映会 & 木村泰子先生講演会 in 富山実行委員会**

**◎日・時 10月30日(日)午後1:30～3:40**

**場 所 自治労とやま会館 3階大会議室 ☎076-441-0375**

**戦争法(安保法制)下の共謀罪**

**—なぜ、いま、「テロ等組織犯罪準備罪」なのか—**

**講 師 小倉 利丸 さん(元富山大学教員)**

**参加費 一般 1000円／学生 500円／高校生以下無**

